気づき・学び・変わる

言葉

あなたはどうして言葉を学ぶのですか
友だちの悪口をいうためですか
友だちと仲良くお話するためですか

あなたはどうして言葉を学ぶのですか
人をののしるためですか
人をはげますためですか

あなたはどうして言葉を学ぶのですか
死ねや殺すというためですか
人とともに喜び悲しむためですか

言葉は人を傷つける
言葉は人を包み込む
あなたは言葉をどう使うのですか

この詩は福岡県小郡市の小学六年生の作品です。

日頃の会話の中で「相手がいやがるようなことは言わない」ということを誰しも幼い頃に教わったことがあると思います。言葉や表現で人を傷つけることがあってはならないことですが、気づかずに傷つけていることがあるかもしれません。

これを防ぐためには、自分はなぜ言葉を学んできたのか、どのように使ってきたのかを振り返ってみる機会が必要ではないでしょうか。

振り返ってみれば、知らぬ間に人を傷つけ、いやな気持ちにさせたことにも気づくかもしれません。

人は、この「気づき」からたくさんのことを学び、「気づく」ことで、これまでの自分から「変われる」チャンスがあるのです。

ひと息入れて、これまでの「わたし」を振り返ってみませんか。

市人権推進課（教育庁舎1階）
☎　32・2122
FAX 33・3525
Mail：jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸　花みずき歌壇（325）　松並敦子・選

夢に見し父はステテコ草履（ぞうり）ばき団扇（うちわ）片手にわれを招けり
横須町　福島　夢栄

《評》米寿を越えた作者の夢の中に現れたお父さんは、幼い頃の思い出と重なる。戦前の一般家庭のお父さんたちは、ステテコ姿に草履をつっかけて縁側で団扇を使いながら夕涼みしていたようだ。その頃は猛暑日などはなく、軒下の風鈴を鳴らす自然の風だけで暑さを凌（しの）ぐことが出来た。夢が覚めても手招きしてくれたお父さんの姿がいつまでも作者の心の中に残っていたことだろう。

あの人に花を持たせてあげましょう控え目な人誠実な人
田浦町　西　照子

くす玉が割れた心地す胃カメラの検査の後に聞く医師の声
立江町　湯浅かや子

初生りのきゅうりの旨（うま）さパリパリと自分の歯で噛（か）む幸せをかむ
田浦町　太田カツミ

真夏日に朝から鳴ける蝉しぐれ頭の中に一日ひびく
中田町　倉橋　正則

ひめゆりの塔の時代を知らぬわれも悲しみ深し今は良き世か
前原町　原野　有博

海よりの風送り込む朝のきて早くも釣人見えかくれする
立江町　濱　耕一

この暑さ今日梅雨明けの予報あり耐えてゆけるかどうか心配
坂野町　橋本千代乃

パソコンの削除（さくじょ）ボタンを押す刹那（せつな）消したき過去の一つ思えり
立江町　大西　和美

くちなしが甘く匂えり治療終え歯科を出でたる安堵の胸に
ひのみね総合療育センター　関　政明